

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
111	言語学特殊研究 <Specialized Studies in Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
言語学	佐久間 淳一(SAKUMA Jun'ichi)		後期	月曜：2限
講義題目 Title	言語学特別演習(B)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	原則として、言語学を専攻する大学院生が受講資格をもつ。文学研究科の言語学専攻の学生は必ず出席すること。			
授業の目的 Purpose	<p>本講義は、専門分野の研究方法に基づき、文献や資料を収集・分析し、そこから必要な情報を抽出し研究に活用する能力、および自ら課題を発見し、研究のテーマを設定する力を身につけ、学位論文の執筆に必要な能力を獲得することを目的としている。具体的には、言語研究の方法を習得し、研究成果の発表方法、学術論文の作成方法を習得することを目指している。</p> <p>The participants are expected to learn the general method of linguistic studies, how to communicate research results and how to achieve academic papers.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>授業ごとに指定された発表者が研究成果をまとめたハンドアウトに基づき研究発表を行う。研究発表後は、質疑応答および発表内容についての議論を行う。</p> <p>受講者は、学期の間に、最低1回は研究発表を行うこと。また、ハンドアウトは、授業の3日前までに担当教員まで提出すること。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	なし。			
参考書 References	なし。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	<p>学位論文の完成に向け、各自、研究計画に沿って研究を進める。授業のハンドアウトは、時間に余裕をもって作成する。ハンドアウトは授業の3日前までに受講者に配布するので、発表者以外の受講者は事前にハンドアウトを読み、授業時に質疑応答や議論に参加できるよう準備しておく。</p>			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	研究発表の内容、授業への参加および貢献度によって総合的に評価する。			
連絡方法 Contact information	メールアドレス：jsakuma@lit.nagoya-u.ac.jp			